

カーボンニュートラルポート（CNP）形成準備会の 開催結果について

1 要旨・目的

広島港及び福山港のカーボンニュートラルポート（以下、「CNP」という。）形成準備会を昨年12月26日に開催したので、その結果を報告する。

2 現状・背景

国土交通省では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国際物流の結節点かつ産業拠点となる港湾において、①「水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備」、②「脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化」、③「集積する臨海部産業との連携」等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするCNPの取組を推進することとしている。

これを踏まえ、本県では基幹産業が集積する広島港及び福山港において、CNP形成計画の策定に向けた取組を進めるため、国土交通省と連携して両港の準備会を開催し、民間事業者や関係行政機関等と意見交換を行った。

3 概要

(1) 実施主体

国土交通省中国地方整備局、広島県

(2) 開催日

令和4年12月26日（月）

(3) 場所

オンライン会議

(4) 実施内容

ア 議事概要

(ア) カーボンニュートラルポートの概要、国内の検討状況の説明【地方整備局】

(イ) 今後の検討の進め方【県】

イ 民間事業者からの主な意見

(ア) コストや安定供給の観点から、脱炭素化・企業利益に最も有効な次世代エネルギーを見極める必要がある。【広島港】

(イ) モーダルシフトの推進による脱炭素化についても重視して欲しい。【広島港】

(ウ) 水素の輸送・供給については、調達先の出荷体制、輸送方法の検討に加えて大量一括輸送や取扱拠点化によるコストダウンが課題と考えられる。【福山港】

(エ) 水素調達について、複数の事業者による共同輸送も一つの選択肢として検討を行う必要がある。【福山港】

ウ その他

開催概要及び参加者については、別紙のとおり（県HPに掲載）。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/cnp-keikaku.html>

4 その他

今後は準備会での意見などを参考にCNP形成計画の策定に向けて検討を進める。

お知らせ

広島港カーボンニュートラルポート(CNP)形成準備会を開催しました。

国土交通省中国地方整備局と広島県は共同で、我が国の基幹産業である自動車関連企業や産業機械等の製造産業等の企業が多く立地しており、中国地方の地域経済を支える重要な役割を担っている広島港において、CNPの形成に向け、民間事業者及び関係行政機関の参画を得て、カーボンニュートラルの取り組みを進めるための準備会を12月26日に開催しました。

今後は準備会での意見などを参考にカーボンニュートラルポート形成の計画策定に向けて検討を進める予定です。

準備会の議事概要は、中国地方整備局港湾空港部及び広島県港湾漁港整備課のHPにて公開しています

(中国地方整備局 港湾空港部ホームページ <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/>)

(広島県 港湾漁港整備課ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/>)

【問い合わせ先】〈広島港 CNP 形成準備会事務局〉

・中国地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室長 石本 新吾

TEL : (082) 511-3928

港湾計画課 主査 東 晃平

TEL : (082) 511-3905

・中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所

副所長 尾崎 靖

TEL : (082) 254-6413

企画調整課長 木村 淳治

TEL : (082) 254-7906

・広島県 土木建築局 港湾漁港整備課

港湾漁港整備課長 高橋 直樹

TEL : (082) 228-0976

港湾計画担当監 前原 勇

TEL : (082) 228-0976

〈広報担当窓口〉 中国地方整備局 港湾空港部

TEL : (082) 511-3905

計画企画官 小川 まさし

「広島港カーボンニュートラルポート（CNP）形成準備会」を開催しました

- 国土交通省では、我が国の輸出入の99.6%を取り扱い、CO2 排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素化社会の実現に貢献していくこととしています。
- この度、国土交通省中国地方整備局と広島県は、広島港でのCNPの形成に向け、有識者、経済団体、関係団体・企業、関係行政機関の関係者が参加のもと「広島港カーボンニュートラルポート形成準備会」を開催しました。

開催概要

【開催日】 2022年12月26日(月)16:00～17:15

【場 所】 オンライン会議

【議 題】 広島港におけるCNP形成について

【参加者】 別紙1参照

【議事概要】

- カーボンニュートラルポートの概要、国内の検討状況の紹介が行われ、広島港でのCNP形成に向けた今後の検討の進め方が示されました。
- また、複数企業よりカーボンニュートラルに向けた取組の紹介があり、2030年、2050年を見据えた『将来像』について意見交換を行いました。

【主な意見】

- メタネーションや水素利用のために必要な土地の確保が課題である。また、水素の調達にあたっては他社との協力が必要になると考えている。
- 水素、アンモニアに限らず、バイオ燃料、LNGなど様々な選択肢がある中で、どのような視点で取捨選択を行うべきかが重要である。
- CO2削減に資する施策として、モーダルシフトの推進による船を活用した物流に伴う脱炭素化についての視野も重視していただきたい。
- コストや安定供給の観点から、脱炭素化・企業利益に最も有効な次世代エネルギーを見極める必要がある。
- カーボンニュートラルの課題は大規模なものであると認識している。企業単独での取組は進めているが、港全体での取組にも参画していけたらと考えている。
- カーボンニュートラルは、広島港が「選ばれる港」になるための必須条件として認識しており、一緒に取り組んでいきたい。



広島港



広島港カーボンニュートラルポート形成準備会 開催状況

【別紙1】 広島港カーボンニュートラルポート（CNP）形成準備会参加者

区分	職名
学識経験者	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授(輸送・環境システムプログラム)
経済団体	一般社団法人 中国経済連合会
関係企業・団体	広島地区港運協会
	広島県旅客船協会
	マツダ(株)
	広島ガス(株)
	海田バイオマスパワー(株)
	(株)ひろしま港湾管理センター
関係行政機関	中国地方整備局 港湾空港部長
	中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所 所長
	広島県 土木建築局 総括官(空港港湾)
	広島県 環境県民局 総括官(環境)
	広島県 商工労働局 総括官(新産業創出)
	広島市 都市整備局 次長
	広島市 経済観光局 産業振興部長
	広島市 環境局 次長
	廿日市市 建設部長
	廿日市市 生活環境部長
	坂町 技監兼建設部長
海田町 建設部長	
オブザーバー	中国運輸局 交通政策部 部長
	中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室室長
	中国経済産業局カーボンニュートラル推進室 室長

お知らせ

福山港カーボンニュートラルポート(CNP)形成準備会を開催しました。

国土交通省中国地方整備局と広島県は共同で、背後圏に鉄鋼業等の産業や、企業の事業所が多数立地しており、我が国の基幹産業である製造業及び地域の経済・雇用の成長を支える重要な役割を担っている福山港において、CNPの形成に向け、民間事業者及び関係行政機関の参画を得て、カーボンニュートラルの取り組みを進めるための準備会を12月26日に開催しました。

今後は準備会での意見などを参考にカーボンニュートラルポート形成の計画策定に向けて検討を進める予定です。

準備会の議事概要は、中国地方整備局港湾空港部及び広島県港湾漁港整備課のHPにて公開しています

(中国地方整備局 港湾空港部ホームページ <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/>)

(広島県 港湾漁港整備課ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/>)

【問い合わせ先】<福山港 CNP 形成準備会事務局>

・中国地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室長 石本 新吾

TEL : (082) 511-3928

港湾計画課 主査 東 晃平

TEL : (082) 511-3905

・中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所

副所長 尾崎 靖

TEL : (082) 254-6413

企画調整課長 木村 淳治

TEL : (082) 254-7906

・広島県 土木建築局 港湾漁港整備課

港湾漁港整備課長 高橋 直樹

TEL : (082) 228-0976

港湾計画担当監 前原 勇

TEL : (082) 228-0976

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部

TEL : (082) 511-3905

計画企画官 小川 雅史

「福山港カーボンニュートラルポート（CNP）形成準備会」を開催しました

- 国土交通省では、我が国の輸出入の99.6%を取り扱い、CO2 排出量の約6割を占める産業の多くが立地する港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素化社会の実現に貢献していくこととしています。
- この度、国土交通省中国地方整備局と広島県は、福山港でのCNPの形成に向け、有識者、経済団体、関係団体・企業、関係行政機関の関係者が参加のもと「福山港カーボンニュートラルポート形成準備会」を開催しました。

開催概要

【開催日】 2022年12月26日（月）14:30～15:45

【場 所】 オンライン会議

【議 事】 福山港におけるCNP形成について

【参加者】 別紙1参照

【議事概要】

- カーボンニュートラルポートの概要、国内の検討状況の紹介が行われ、福山港でのCNP形成に向けた今後の検討の進め方が示されました。
- また、複数企業等よりカーボンニュートラルに向けた取組の紹介があり、2030年、2050年を見据えた『将来像』について意見交換を行いました。

【主な意見】

- 水素調達について、複数の事業者による共同輸送も一つの選択肢として検討を行う必要がある。
- 将来、市内で発電されるグリーンエネルギー（リサイクル発電、地域新電力）の供給量が拡大すれば、港湾施設（港内の陸電・荷役機器）などに活用することも視野に検討可能である。
- 福山港への水素の輸送・供給のボトルネックとして考えられるのは、輸送距離である。調達先の出荷体制、輸送方法の検討に加えて大量一括輸送や取扱拠点化によるコストダウンが課題と考えられる。水素のパイプラインが整備されれば、港湾の輸送車両の水素化コンバージョン（水素エンジンへの載替）の普及も期待される。



福山港



福山港カーボンニュートラルポート形成準備会 開催状況

区分	職名
学識経験者	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授（輸送・環境システムプログラム）
経済団体	一般社団法人 中国経済連合会
関係企業・団体	中国地方港運協会 福山支部
	JFEスチール(株)
	日本化薬(株)
	(株)エフピコ
	JFEケミカル(株)
	瀬戸内共同火力(株)
	福山バイオマス発電所合同会社
	(株)ひろしま港湾管理センター
関係行政機関	中国地方整備局 港湾空港部長
	中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所 所長
	広島県 土木建築局 総括官(空港港湾)
	広島県 環境県民局 総括官(環境)
	広島県 商工労働局 総括官(新産業創出)
	福山市 建設局 土木部長
	福山市 経済環境局 環境部長
オブザーバー	中国運輸局 交通政策部 部長
	中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室室長
	中国経済産業局カーボンニュートラル推進室 室長